



これからの東和を支えたい



次期生徒会役員選挙を9月22日(木)に控え、7名の立候補者が連日揃って選挙運動をしています。日がたつにつれ応援者も加わり、盛り上がってきています。

生徒会は、東和中学校の生徒全員の

ものですが、その柱である生徒会執行部の役員として、みんなの意見をまとめ、よりよい学校づくりに向け実行していくことは簡単なことではありません。その重責を担おう、これからの東和中学校を支えようと立候補することは、大変勇気のいることです。勇気をもって名乗り出てくれた7名の立候補者のみなさんに敬意を払いたいです。また、その立候補者を支える応援者のみなさんにも感謝します。選挙結果にかかわらず、この経験は、みなさんの成長に大きな意味を持つに違いありません。

○ 次期生徒会執行部役員選挙

・ 演説・投票・开票

令和4(2022)年9月22日(木)

・ 开票結果報告

令和4(2022)年9月26日(月)

生徒玄関に掲示されている立候補者のポスター



夏休み中の出来事



夏休み明けに、地域の方から学校にお電話をいただきました。お電話の内容は、次のようなものでした。

8月のある日、道路の真ん中に、車に轢(ひ)かれたのか、1匹の猫が息絶えて横たわっていたそうです。それに気づいたお電話の方は、和歌山市の担当部署に連絡をしたところ対応してくれることになりました。しかし、市の担当者の到着を待っている間にも、その猫の上を車が行き来していたため、どうしたものかと思っていたそうです。そこに、2人の男の子が自転車に乗って通りかかりました。2人は、その状況を見て立ち止まり、そばにあった葉っぱを使って猫を端のほうに寄せました。そして、猫に向かって目を閉じ、手を合わせ、自転車に乗ってその場から去っていったそうです。お電話をくれた方は、その2人の様子を見て涙が溢れてきたとおっしゃっていました。2人の優しさに触れ、とてもうれしくて、それを学校に伝えたかった、誰かわかったらありがとうと伝えてほしい、とのことでした。

2人は、1年生の早瀬零さんと山本大志さんだということがわかりました。遊びに行く途中で、たまたま通りかかったそうです。

お電話の方に代わり、2人には、ありがとうと伝えました。

第3回公開・研究授業



8月31日に、本年度3回目となる「学び合いの授業づくり」公開・研究授業をしました。この日は、和歌山市教育長が来校され、本校の学習の様子を参観されました。その他にも、和歌山市内の先生方や市教育委員会の方々、遠くは新宮市や東大阪市の学校の先生も来校されました。5限には、3年4組の理科の授業を本校教員を含む全員で参観し学びました。3年生の学びに対する2年半の成長ぶりには感激しました。本校は、これからも、生徒同士はもちろん、生徒と先生、先生同士も、日々、学び合い育ち合う学校として進んでいきます。